

バイブルスタディ Pastor JD Farag

2018.12.16

ピリピ人への手紙 2:1-11 「人間関係の対立を解消するには」

ピリピ 2 章 1 節から 11 節を見ていきましょう。

使徒パウロが聖霊によって、ピリピの教会に手紙を書いています。

ピリピ 2:1-11

- 1 ですから、キリストにあって励ましがあ、愛の慰めがあ、御霊の交わりがあ、愛情 (Tenderness) とあわれみ (Compassion) があるなら、
- 2 あなたがたは同じ思いとなり、同じ愛の心を持ち、心を合わせ、思いを一つにして、私の喜びを満たして下さい。
- 3 何事も利己的な思いや虚栄からするのではなく、へりくだって、互いに人を自分よりすぐれた者と思いなさい。
- 4 それぞれ、自分のことだけでなく、ほかの人のことも顧みなさい。
- 5 キリスト・イエスのうちにあるこの思いを、あなたがたの間でも抱きなさい。
- 6 キリストは、神の御姿であられるのに、神としてのあり方を捨てられないとは考えず、
- 7 ご自分を空しくして、しもべの姿をとり、人間と同じようになられました。人としての姿をもって現れ、
- 8 自らを低くして、死にまで、それも十字架の死にまで従われました。
- 9 それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名を与えられました。
- 10 それは、イエスの名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるものの全てが膝をかがめ、
- 11 すべての舌が「イエス・キリストは主です」と告白して、父なる神に栄光を帰するためです。

愛する天のお父様、願わくば、この時間、私たちの心と思考を落ち着かせ、専念できるように導いて下さい。

それは、あなただけができることです。

御言葉を通して、私たちのいのちに語りかけて下さい。

そのために私たちはここにいるのですから。

あなただけが、私たちの魂の飢え渴きを満たすことができるお方です。

主よ、導いて下さい。

イエス様の御名によってお祈りします。アーメン

私はピリピ 2 章の最初の 11 節を本当に楽しみにしていました。

“謙虚、へりくだり (Humility)” という非常に重要なトピックだからです。

これについてのメッセージを準備するために、どれほど祈り込んだか、お分かり頂けるでしょうか。

謙虚さについての御言葉に取り組むのは、いつも本当に難しい。

なぜなら、自分がいかに謙虚ではないかを思い出させるから。

自分の人生にも、少くく謙虚に見える部分があるだろうと思う時でさえ、大抵は、その謙虚さを誇っていたりして台無しです。

自分の高ぶりを控え目に見ることすらある。

謙虚というのは捉えどころのないものです。

私はこの説教を「謙虚さが答えである」というタイトルにしました。

謙虚さが答えであるなら、謙虚さが答えとなる問いがあるはずだからです。

その問いとは、何によって解決できるのか、ということ。

クリスチャンとしての人間関係に於いて、対立や問題を解決するものは何か。

答えは謙虚さです。謙虚さ。

今日与えられている御言葉の中で、パウロはいつものように2つの理由を指摘しています。  
ピリピ教会の人たちは、教会内で対立していました。  
教会内での対立、それは、利己的な野心と、根拠のない虚栄心によるものでした。  
両方とも高ぶりを煽るものであり、それ自体が対立と分断の元になっているのです。  
教会で、家庭で、結婚生活で、家族間で、職場で対立がある時、謙虚さがいかに答えとなるか。  
それが、今日話したいことです。

ピリピ 4:2-3 を見ると、パウロは教会で対立を引き起こした2人の女性の名前を実際に挙げています。  
何が起こったのかというと、この対立のために、人々は教会内でどちらの側に付くかという選択を迫られていました。

**2 ユウオディアに勧め、シンティケに勧めます。あなたがたは、主にあって同じ思いになってください。**

**3 そうです。真の協力者よ、あなたにもお願いします。彼女たちを助けてあげてください。**

この人たちは、いのちの書に名が記されているクレメンスやそのほかの私の同労者たちとともに、福音のために私と一緒に戦ったのです。

興味深いですね。

この内輪揉めを引き起こしている人たちは、クリスチャンだったのですよ。

明らかに、この人たちはパウロにとって福音を広める協力者、同労者で、大変祝福されているように見えていました。

しかし、実際に起こっていたのは、高ぶり、虚栄、利己的野心。

この利己的野心。野心を持つのは悪いことではありません。

願わくば、神の働きのために野心を持ちたいものです。

しかし、動機が利己的であるなら、それは野心ではない。

自己中心の動機の核心にあるのは、必ず高ぶりです。

それが対立の真実で、まさにピリピ教会で起こっていることでした。

感謝なことに、パウロは教会が分裂してしまう前に、先んじて、この対立に正しく対応しようとしています。

それぞれが謙虚になり、互いに同じ思いにならなければ、分裂は起こり得ることでした。

それでパウロは彼らに、「この対立を解決するための答えは謙虚さだ」と言っているのです。

私は、高ぶりが全ての争いと口論の源であると思っています。

PRIDE (プライド) のど真ん中に、I (私) がある。

これが、「高ぶりは利己的野心と虚しい虚栄の中心である」と言われる理由です。

それに、SIN (罪) の真ん中にも、I (私) がありますね。

多分もっと見つかると思いますが。

ポイントは、「私が」、「私自身が」、「私を」は邪悪な三位一体と呼ばれていて、全ての罪の核心にあるということ。

それがプライド (高ぶり、傲慢) で、最初の罪でしたが、これはエデンの園にではなく、天にあったのです。

ルシファーが高ぶりに満ちて、自分自身を高く上げました。

興味深いのは、彼が8回以上も「私」と言っている点です。

**「私は天に上ろう。神の星々のはるか上に私の王座を上げ、北の果てにある会合の山で座に着こう。」**

**(イザヤ書 14:13)**

「私がする。私がする。」と。私が、私が、私が、私、私、わたし・・・

I (私が) で始まる時は高ぶりの表れであることを知っていますね。

## ヤコブの手紙 4:1-10

なぜこの箇所かが分かると思います。

ヤコブ書は面白い書で、ヨセフとマリアに生まれたイエスの異父兄弟が書いていて、“新約聖書の箴言”と言われています。

皆さん、ヤコブが好きになると思いますよ。

彼は手加減しません。

あなたに向かって、大変率直に、ありのままを言います。

1節もそうで、ヤコブの問いかけです。

### 1 あなたがたの間の戦いや争いは、どこから出て来るのでしょうか。

言い換えると、「そのケンカ、口論、反論、対立の源は何なのか。」

ここから、すなわち、あなたがたのからだの中で戦う欲望から出て来るのではありませんか。

### 2 あなたがたは、欲しても自分のものにならないと、人殺しをします。

熱望しても手に入れることができないと、争ったり戦ったりします。

自分のものにならないのは、あなたがたが求めないからです。

### 3 求めても得られないのは、自分の快樂のために使おうと、悪い動機で求めるからです。

付け加えさせてもらおうと、利己的動機で願うから。

### 4 節操のない者たち。世を愛することは神に敵対することだと分からないのですか。

世の友になりたいと思う者はだれでも、自分を神の敵としているのです。

### 5 それとも、聖書は意味もなく語っていると思いますか。

「神は、私たちのうちに住ませた御霊（つまり聖霊）を、ねたむほどに慕っておられる。

### 6 神は、さらに豊かな恵みを与えてくださる」と。それで、こう言われています。

「神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与える。」

### 7 ですから、神に従い、悪魔に対抗しなさい。

興味深いことに、なぜ悪魔に対抗するのでしょうか。

悪魔が高ぶりを創造したから。

悪魔があなたのところに来て誘惑し、あなたの中に高ぶり、傲慢、虚栄の霊を作り出すのです。

そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。

### 8 神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたがたに近づいてくださいます。

罪人たち、手をきよめなさい。

ヤコブが今日生きていて、教会を持っていたなら…と思います。

「罪のある人たち！手を洗いなさい!!」気分が良くなりました。

二心の者たち、心を清めなさい。

### 9 嘆きなさい。悲しみなさい。泣きなさい。あなたがたの笑いを悲しみに、喜びを憂いに変えなさい。

そして、

### 10 主の御前でへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高く上げてくださいます。

また個人的な例を出すのを許して下さい。

私は事実、高ぶりに於いてはプロ級の資格証明書を持っています。

私は自分のことが分かっていて、高ぶりに関してよく知っていますから、たくさん話せますよ。

主は私に「謙虚でありなさい。私があるあなたを上げるのだから。」と言われます。

「JD、主の御前でへりくだりなさい。でなければ、わたしがへりくだらせるよ。」

### 高ぶりがあると、ただ争いが生じるだけ。(箴言 13:10a)

高ぶりが争いを生む。高ぶりがケンカと戦いと口論と対立の源。しかし、

### 知恵は勧告を聞く者とともにある。(箴言 13:10b)

高ぶりが来れば、辱めも来る。知恵はへりくだる者とともにある。(箴言 11:2)

私はこの対照的な詩が大好きです。

高ぶりが作り出し、もたらすものとは対照的に、対極にあるへりくだりが、何をもたらすのかが分かりますから。

へりくだりは知恵をもたらし、高ぶりは愚かさをもたらす。

へりくだりは平安と調和をもたらし、高ぶりは争いと戦い、戦争、紛争をもたらす。

私自身の人生で学んだことのひとつが、主の御前でへりくだること、そして、他の人の前でもそうすることです。

高ぶりと傲慢による争いは、結局は分解をもたらすのです。

私の結婚生活を例としてシェアしましょう。

ご存知の通り、私は牧師として完璧な結婚生活をしています。

妻は第2礼拝に来るので、第2礼拝ではこれは言いません。

私は家庭内紛争という言葉を使いますが、ある牧師が言った“激しいフェローシップ”とも表現できます。

ここにいる私は、自らへりくだること、自分が悪いと認めるのを拒否する。

Happy Days (ハッピーデイズ) に出て来る Fonzie (フォンジー) を知ってますね。

若い人は知らないと思いますが。

Fonzie は、自ら「私が悪い」と言い出せるタイプではありませんでした。

自分の口からそれを言うなんて不可能だった。

それが高ぶりです。

自分のことしか考えていない時、私は「私が間違っていた」と認めることを拒絶します。

認めるなんて不可能です。

「私は謝らないぞ！ 彼女が謝るべきだ！」

さあ、正直になりましょうよ。

なぜ、そんな風私を見るのですか？ あなたはどうなんでしょう？

それは、自分のことは棚に上げて、人のことを言うようなものですね。

家庭内の争いで、決して使うべきでない2つの言葉についてはどうでしょうか。

それは、「いつも\_\_\_\_\_」と「絶対\_\_\_\_\_」

空欄を埋めてみましょう。

「あなたはいつも\_\_\_\_\_」「あなたは絶対\_\_\_\_\_しない」「あなたは…」

では、自分はどうなんでしょう。

私たちは結婚して 30 年になりますが、決して忘れられないのは、何年も前、どちらかと言えば結婚したての頃のことです。

私たちは、何と呼びましょうか、そう、ケンカをしていました。

「あなたは絶対にしない！」「おまえはいつも!!」と互いに攻撃し、叫び合い、非難し合う。

当時の私はまれに、「ちょっと待ちなさい。止めなさい。」と聖霊に説得される時があって、だから、へりくだって妻に言ったのです。

「ハニー、本当にごめんね。君が正しいよ。」

彼女は「ダメ！ あなたはそれをしちゃダメ！ 私が先にする！」

とっても負けず嫌い。

私たちは、どちらが先に謙虚になるかを争ったのでした！

「おまえが先に謙虚になるな！」「私が先ずへりくだるの！」

考えてみて下さい。多分、皆さんにも経験があるでしょう。

自分がへりくだって謝ったその時点、その瞬間に、全ての流れが瞬時に変わる。

「どうしてもっと早くそうしなかったんだろう。」

これが唯一の後悔である時、私は正しい判断をしたのだと分かります。

その瞬間、「もっと早くに謝っていれば良かった」と気づくのです。

そうすれば、深い悲しみと怒りの全てを避けることができていたのですから。

だから、へりくだることについて、間違っただけではありません。

高ぶりは人間関係を本当に傷つけますから。

私がへりくだった瞬間に思うのは、神が「日の下には新しいものは一つもない。(伝道者の書 1:9)」をいつも私に教えようとしておられるということ。

謙虚さが答えです。

そこで問題があります。

私が非常に高ぶって傲慢な時のこと、ここで話してきたことは、あなたも状況がどうであれ、結婚関係でも、家族関係でも、他の何にでも、個人の生活に適応することができます。

でも、高ぶっている時に私が何を言っているかということ、「あなたよりも私の方がずっと重要なのだ!」

「私の権利の方が、あなたの権利よりも重要だ!」

「私の方がずっと優れた者になるのさ。」「私はもっと地位が高いと思っている。」

その結果生じるのは、他の人を見下すということ。

私は告白しなければなりません。

これは、渋滞の中を運転している時の、私個人の葛藤です。

なぜ、またそんな風に私を見るのですか。

私が渋滞に巻き込まれている時に起こることは、急いでいる時に、前に割り込んで来て、呪いのように、制限速度以下で本当にゆっくり走る。

「私がどこに向かわないといけないのか、彼らは知らないのか!？」

これは、「私の時間は、あなたの時間よりももっと重要だ。」と言っているのです。

彼らもどこかへ行かなければならないのですよ。

パウラ（警察官の信者）はいますか。パウラ、もう、こんな事はしませんから。

これは大昔、本土にいた時の事です。私は今や、法に従う善良な市民です。

しかし、それが高ぶりのすることなのです。

自分自身を上げる。高くする。それによって、他の人を見下す。

ある聖書コメンテーターが、いいことを言っていました。

「私たちが人を見下さずにしっかり見るなら、人へのあわれみ（Compassion）で心が満たされる。」

私は今朝、イスラエルツアー（11月）で人々と知り合い、とても祝福されたことを考えていました。

彼らの話、いくつかの証しを聞きましたが、ただただ素晴らしい。

彼らの中に、そのあわれみを感じるのです。

その人たちが経験している苦しみ、神が救い出して下さったこと、本当に強烈な証しです。

キリストにある一人の姉妹が教えてくれたのは、ツアーの数か月前に息子さんが自殺したことです。

これは正念場と言えるでしょう。

オズワルド・チェンバーの言葉だったと思いますが、「あなたが本当に他の人の立場に立つことができるなら、そして、その状況を経験するならば、あなたは他者に対して非常に優しくなることができる。」

それは、謙虚さをもたらします。

他者に対して、もっともってあわれみを持つことができます。

謙虚さが他者に対するあわれみをもたらすのです。

今日の御言葉の中で、これが、“人間関係の多くの問題に関しては、謙虚さが答えである” ということの3つの理由のうちの1つです。

## ピリピ 2:1-2

- 1 ですから、キリストにあって励ましがあ、愛の慰めがあ、御霊の交わりがあ、愛情 (Tenderness) とあわれみ (Compassion) があるなら、
- 2 あなたがたは同じ思いとなり、同じ愛の心を持ち、心を合わせ、思いを一つにして、私の喜びを満たして下さい。

パウロは「ピリピの人たちが、本当に自分の喜びを満たしてくれるだろう」と言っています。

パウロには喜びがあって、彼はただその喜びに完全に満たされたい。

それは、ピリピ教会の人たちの愛によってなされるのです。

聞いて下さい。「互いの愛情とあわれみ」

イエスは何と言われましたか。

「人があなた方を、わたしの弟子であるかどうかを見分けるためのリトマス試験は、車の後ろに魚（クリスチャンシンボル）のマークがあるとか、教会に持参する聖書の大きさとかではない。」

「それを証明するのは、あなた方の他者への愛、あわれみ、優しさ、穏やかさなのだ。」

勿論、人々は、あなたに自分の苦悶を話すことを好まないかもしれません。

でも、彼らの苦悶が分かりさえすれば、あなたはもっとあわれみを持って配慮するでしょう。

このあわれみを持つための第一歩が、愛であり、聖霊の実です。

そのためにパウロは、「霊を一つにしなさい。思いを一つにしなさい。」と言っているのです。

私たちが愛を持って、霊を一つにし、思いを一つにするためには、先ず、へりくだらなければなりません。

このへりくだりがなければ、他者への愛情 (Tenderness)、愛 (Love)、あわれみ (Compassion) がもたらす喜びの杯を味わうことは決してありません。

あわれみ、穏やかさ、愛情を持って愛する時、心が祝福されませんか。

ちょっと立ち止まって、考えてみて下さい。

神は私たちをそのようにお造りになったのですよ。

親切な行動は…これはまた別の機会の別のトピックですが、私は優しさについてちょうど考えていました。

親切に優しく振る舞うことを。

特にこの時期、間もなくクリスマスですね。皆さん、何かするでしょう。

それは、誰かのために慈悲とあわれみから。

最後には、受け取ることよりも、与えることの方がもっと祝福されるのです。

なぜなら、神が私たちをそのようにお造りになったから。

## ピリピ 2:3-4

- 3 何事も利己的な思いや虚栄からするのではなく、へりくだって、互いに人を自分よりすぐれた者と思いなさい。
- 4 それぞれ、自分のことだけでなく、ほかの人のことも顧みなさい。

### 3 互いに人を自分よりすぐれた者と思いなさい。

これもまた、高ぶりが、「人よりも、自分の方が価値がある。人は自分よりも劣っている。」と思わせるのです。

誰かを見下して話す人というのは、自分自身を高く上げたいのですから、そうなります。

他者であるあなたを犠牲にして、自分自身をより良く感じたいから。

悲しいことですが一般的に、結婚生活における人間関係では夫が妻をバカにします。

妻を見下している。

こんな風に言うのは不躰ですが、それは、自信のない男性がすることです。

自分が何者かを知らず、全く自信がない男性。

特にキリストにある男性ですが、自分を高くするために人を見下さなければならぬでしょう。

ここでパウロが言っているのは、自分がへりくだる時、他者は自分よりも優れているということ。

それは、あなたに価値がないというのではなく、あなたが他の人よりも優れていると考えないこと、そういう思い違いをしないということです。

あなたが他の人を自分よりも優れているとするなら、自分だけの益としては見なくなり、他の人の益のためにも見ようとするのです。

それが、ここでパウロが言っていることです。

逆に、あなたに利己的野心、虚しい虚栄心があるなら、どんな人よりも自分が一番大切で、自分自身を高く上げ、自分の益を他の人よりも優先します。

## ピリピ 2:5-11

ここは他者との関係についてです。

**5** キリスト・イエスのうちにあるこの思いを、あなたがたの間でも抱きなさい。

**6** キリストは、神の御姿であられるのに、神としてのあり方を捨てられないとは考えず、

**7** ご自分を空しくして、しもべの姿をとり、人間と同じようになられました。人としての姿をもって現れ、

**8** 自らを低くして、死にまで、それも十字架の死にまで従われました。

**9** それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名を与えられました。

**10** それは、イエスの名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるものの全てが膝をかがめ、

**11** すべての舌が「イエス・キリストは主です」と告白して、父なる神に栄光を帰するためです。

興味深いことに、ある人たちは、この箇所を初代教会の賛美とみなしています。

パウロが大変美しく、そして雄弁に、イエス・キリストの光の中に在って、イエスと同じ考え方、同じ思いを持っている関係を表現しているからです。

へりくだりの完璧な模範。謙虚そのもの。

私たちが話しているのは人の姿をした神のことで、彼はご自分を低くされ、自ら進んで人となられ、十字架で死なれました。

私はパウロの言い方が好きです。

**8** 自らを低くして、死にまで、それも十字架の死にまで従われました。

これが私たちの模範です。

私は自分と皆さんとを比べたりはしません。

皆さんも、私と比較するべきではありません。

基準はそこではない。

基準は完全な謙虚さ、へりくだりそのもののイエス・キリストなのです。

私が衝撃を受けるのは、福音書の中で、イエスが非常に柔和（Meek）だったことです。

この言葉は注意して使っています。

私たちは、柔和（Meek）と弱さ（Weak）を類義語に考えますから。

しかし、事実は全く異なります。

柔和は自制の力。

イエスは柔和であって、弱かったのではありません。

私はそこに、ただ救世主のへりくだりを見るのです。

だから、怖がりの小さな子供たちがイエスにとっても惹かれて、彼の元に集まって来て、離れようとはしませんでした。

100%神。100%人間の肉体をまとった神。

イエスは、弟子たちが、自分の所に集まってくる子供たちを追い払おうとすると叱りました。  
救世主イエスはとっても魅力的で、近づいて来る小さな子供たちを歓迎したのです。  
皆さん、私は怖く見えるのでしょうか。  
私が子供たちに近づくと逃げてしまいます。  
へりくだって、私たちの罪のために十字架で死んだイエスは、私たちの究極の、完全な模範です。

じっくり考えて、この問いを締めくくります。  
もし謙虚さが敵同士の対立を解決する答えなら、更に、敵同士に和解をもたらすならば、人と神との和解のためのイエスのへりくだりは、究極の答えではないですか。  
これが答えとなる全てだと思います。  
点と点を繋ぐことができますか。  
言い方を変えると、へりくだりが家庭内紛争などに和解をもたらす答えであるなら、人間と神との間の罪の問題のためにへりくだった、イエスの謙遜とはどれほどなのでしょう。

ここで質問です。これで終わります。  
私が、誰かに対して今抱えているどんな対立も、いかなる相違も、私が単にへりくだるならば、瞬時（この言葉を使いますが）に解決し、和解することができるのではないか。  
多分、“先に”という言葉をつけ加えるべきでしょう。  
時に、神は言われます。「あなたがまず、先にしなさい。」  
オズワルド・チェンバーを再び引用します。  
「問うべきは、『私は被害を受けたか』ではなく、『私は間違えたことはないか』である。」  
「明らかに、私は間違えたことがある。」

祈りましょう。  
主よ、私はもう1回、礼拝で謙虚さをメッセージするのです。  
一つ終わって、また一つ・・・どうか助けてください。  
主よ、罪を認めます。でも、良い意味で、です。  
非難されるのではなく、認めるのです。  
主よ、これに関して聖霊の力で、私たち全員がへりくだることができるように、謙虚であるように導いて下さい。  
主よ、どうか私たちの傲慢をお赦し下さい。  
不必要な苦しみや痛み、困難は全て高ぶりのゆえです。  
主よ、へりくだることの完全な模範、謙虚そのもののお方であることを感謝します。  
イエス様の御名によってお祈りします。  
アーメン

~~~~~  
「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル4:7

メッセージ by JD Farag 牧師

カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 Rumi